



— 連携型中高一貫教育校 —
山瀬高校 学校だより
 小瀬高 SPIRITS & PRIDE

平成30年度 第17号
 茨城県立小瀬高等学校
 平成30年12月18日

【明峰中福祉体験】

11日に、明峰中学校の3年生が本校を訪れ福祉体験を行いました。サポートとして福祉コースの3年生8名が参加しました。まず、福祉の内容について説明の後、疑似老人体験と車椅子体験、起き上がり介助などの体験をサポートしました。

明峰中生達は、本校生徒の具体的な説明やデモンストレーションを参考に様々な体験をしていました。特に、疑似老人体験では、「怖い」「これ無理」などと、高齢者の方は身体を動かすにきくだけでなく視野が狭いことを実感していたようです。また、車椅子体験では、乗せている人への配慮がないと不安感や恐怖感を与えてしまうことを実感していました。



【木村泰子先生講演会】

12日に、大阪府の公立学校の校長先生であった木村泰子先生をお招きし、地域にある学校としての小瀬高校の理想の姿を考えるための座談会を行いました。木村先生は、「すべての子どもが安心して学んでいる奇跡の学校（みんなの学校）」と言われた大阪府住吉区立大空小学校の校長先生をされていました。

生徒達は「みんなの学校」を見て事前学習をし、当日を迎えました。はじめに、木村先生からお話をいただき、その後、グループワークを行いました。「映画を見て印象に残ったことは何か」「小瀬高のどんところがいいところなのか」「小瀬高をよりよくするにはどうしたらよいか」などを話し合い、発表し合う形で座談会を行いました。また、代表生徒によるディスカッションでは、「正解のない問いを問いつけること。」「自分から自分らしく自分の言葉で語ること。」「失敗してもやり直すことが出来る環境が大切である。」などのアドバイスを木村先生から頂きました。

生徒たちは、今回の取り組みを通して、地域の方々との交流の大切さを再確認すると共に、社会に出て生きていくためのよい学びの経験をしました。

